

第1542回 札幌市民劇場

陣内麻友美・中原聰章

ジョイントリサイタルIV

ヘンデル

アポロとダフネ

キューピッドの矢の力により
愛の虜となるアポロと
彼を逃れ月桂樹となるダフネ
ヘンデルが描く
悲しい恋の神話



演奏者

ソプラノ：陣内麻友美 バリトン：中原聰章

バロック・ヴァイオリン／音楽監督：長岡聰季

バロック・ヴァイオリン：山本聖子

バロック・ヴィオラ：鈴木京

フラウト・トラヴェルソ：八條美奈子

バロック・チェロ：山田慶一

チェンバロ：山縣万里

Program

G.Fr.ヘンデル Georg Friedrich Händel(1685-1759)

お前は何を考える

Che vai pensando HWV 184

ひどい暴君、愛の神

Crudel tiranno Amor HWV 97 より

ソプラノとバスのためのカンタータ『アポロとダフネ』

Apollo e Dafne ('La terra e liberata') HWV 122 他

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会／札幌市／

(公財)札幌市芸術文化財団

主 管：陣内麻友美・中原聰章ジョイントリサイタル実行委員会

協 賛：伊藤組100年記念基金／

公益財団法人 道銀文化財団 道銀芸術文化助成事業／

公益財団法人 北海道文化財団 文化芸術活動継続支援事業

後 援：北海道新聞社／札幌音楽家協議会

2022
10/10 (祝・月) 13:30開場 14:00開演
ちえりあホール

札幌市西区宮の沢1条1丁目 地下鉄東西線「宮の沢駅」直結徒歩5分

入場料：前売 一般3,000円 ペア5,000円 学生1,500円

当日 一般のみ500円増し ペア券は前売り券のみの販売となります。

お問い合わせ・チケット予約：

Jin企画 090-1309-5893 jinkikaku2020@gmail.com

チケットお取り扱い：

道新プレイガイド・市民交流プラザチケットセンター(0570-00-3871)



あらすじ

怪物を退治したアポロは、「地上は自由になった!」(原題の"La terra è liberta")と自慢し、勢い余って愛の神キューピッドをからかってしまいます。怒ったキューピッドは、ダフネが美しい歌を歌っている間に、アポロに金の矢を、ダフネに鉛の矢を射ったのです。

矢の魔力で、アポロはダフネに恋し追いかけ続け、ダフネは女神ダイアナ(シンシア)に忠誠を誓ってアポロを拒絶し続けました。アポロが逃げるダフネを強引に捕まえようとした時、突然ダフネは月桂樹に変身したのです。アポロは驚き嘆き悲しみ、月桂樹の枝を切り、それを輪にして冠をつくるのでした。



今回演奏するカンタータに続く、こんなお話をあります。最後にアポロはこう言いました。

「愛するダフネよ。お前は私の妻になってくれなかった。だが、私はお前のことは忘れられない。その愛の証にこうしてお前の枝で冠を作り、いつまでも私のそばに置いておく。そればかりではない。戦場で、あるいは競技場で、すばらしい勲をたてた若者には、きっとこのお前の枝を与えて頭に飾らせよう」と。こうして今でも、オリンピックなどで、勝者の頭に月桂冠が飾られるのです。

陣内 麻友美(じんのうち まゆみ)

ソプラノ



北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース(声楽専攻)卒業。日本アンサンブルコンクール(リート・デュオ部門)、優秀演奏者賞、小佐野英子賞受賞。J.S.バッハ『コーヒー・カンタータ』、『農民カンタータ』を中心としたジョイントリサイタルを開催。ソロリサイタルG.Fr.ヘンデル『ルクレツィア』において令和元年度札幌市民芸術祭大賞を受賞。F.クープラン『ルソン・ド・テネブル』、C.モンテヴェルディ『聖母マリアのタベの祈り』、H.バーセル『ディドとエneas』等に出演。アントニッロ『エソポのハラス』『メサイア』に出演。令和3年度札幌文化奨励賞受賞。

親子のための演奏会や、アイヌ神謡集に委嘱初演するなど、幅広く活動している。

声楽を長内勲、宇田川貞夫、波多野睦美、小林木綿、早坂佳子の各氏に師事。バロック音楽を濱田芳通氏に師事。

札幌音楽家協議会、札幌バロックダンス研究会各員。道新文化センター、栄地区センター、ふじの歌う会各講師。

中原 聰章(なかはら としあき)

バリトン



北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを経て同大学院修士課程を修了。オペラではビゼー「カルメン」エスカミーリオ、チャイコフスキイ「エフゲニー・オネギン」タイトルロール、をはじめ多数出演。一方、ベートーヴェン「第九交響曲」や、ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」など宗教曲ソリストとして道内各地にて多数出演。本日共演の陣内麻友美とはこれまでにバッハ「コーヒー・カンタータ」「農民カンタータ」など数多くのジョイント・リサイタルを開催し、音楽情報誌や新聞評論などで高い評価を得た。

声楽を長内勲、野田廣志の各氏に、バロック歌唱法を宇田川貞夫、濱田芳通の各氏に師事。現在、厚別混声合唱団指揮者、札幌合唱団指導者。札幌音楽家協議会、日本シューマン協会、国際及び日本コダ一イ協会各会員。札幌室内歌劇場メンバー、オペラファクトリー北海道実行委員。市立札幌開成中等教育学校芸術科音楽教諭。

長岡 聰季(ながおか さとき)

バロック・ヴァイオリン／音楽監督



東京藝術大学室内楽科博士後期課程修了、博士(音楽)、同大学室内楽科非常勤講師を経て、現在北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻准教授。国内外音楽祭への招待の他、国内プロ・オーケストラでゲスト・コンサートマスターを務める。古楽器奏者として国内外の公演や収録に参加するなど幅広く活動している。2022年1月にCDを発売。



山本 聰子(やまもと せいこ)

バロック・ヴァイオリン

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業、同大学院修士課程修了。フィンランドシベリウス音楽院留学。ヤマハバイオリン講師。北海道教育大学岩見沢校音楽科非常勤講師。ハイムスアーティスト、札幌音楽家協議会、各会員。室内アンサンブル Les pommes²(レ・ポムボム)主宰。令和3年度 札幌文化奨励賞受賞。

鈴木 京(すずき みさと)

バロック・ヴィオラ



北海道教育大学岩見沢校芸術過程音楽コース卒業、同大学院修士課程修了。2018~19年ドイツ・ヴュルツブルク音楽大学に留学。

現在は札幌を拠点にオーケストラへの客演やソロ、室内楽での演奏活動を行う。札幌音楽家協議会会員。



八條 美奈子(はちじょう みなこ)

フラウト・トラヴェルソ

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業、同大学院修士課程修了。大学院在学中にパリ・エコールノルマル音楽院に留学。1998年、1999年PMFに参加。札幌大谷大学非常勤講師、北翔大学非常勤講師、ヤマハ講師を務める。

札幌フルート協会副会長、日本フルート協会会員、ハイムスアーティスト会員。

山田 廉一(やまだ けいいち)

バロック・チェロ



新潟大学及び国際スズキ・メソード音楽院を卒業。ケラス、ベーレニ等の公開レッスンを受講。

これまで世界的に活躍するチェロ奏者の林峰男氏やフルート奏者のフェリックス・レングリ氏、フィリピンフィルハーモニック管弦楽団等と共演。

現在スズキ・メソード チェロ科指導者、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師を務めている。



山縣 万里(やまがた まり)

チェンバロ

東京藝術大学音楽学部楽理科および同器楽科チェンバロ専攻卒業。在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞を受賞。同大学院修士課程チェンバロ専攻を修了後、ソリスト、通奏低音奏者として活動を続ける。

ソロの演奏会シリーズ『ひとり琴』を毎年開催。2022年11月4日、ソロコンサート『ひとり琴 八弦』を東京：紀尾井町サロンホールにて開催予定。

地下鉄をご利用の場合

地下鉄東西線「宮の沢駅」下車
地下直結通路 徒歩約5分
(大通駅～宮の沢駅:約15分)



車をご利用の場合

札幌中心部より約25～30分

●駐車場
西友宮の沢店駐車場と共用(640台収容可能)

●駐車料金
1時間無料。以降、30分毎に100円

(注)ちえりあをご利用される方は、
ちえりあ内駐車券認証機を通して、
さらに1時間無料。

